

§ 7 小規模受水槽水道等監視指導事業

水道法の規制を受けない小規模な受水槽や複数戸で用いている井戸については、水質や施設管理等の問題が指摘されており、不適切な管理が原因となって利用者の健康を害するおそれがあるため、平成7年10月1日「川崎市小規模水道及び小規模受水槽水道における安全で衛生的な飲料水の確保に関する条例」を施行し、一部に簡易専用水道と同様に管理状況検査の受検を規定する等、自主管理の徹底を図り、衛生確保に努めた。

表 215 対象施設

		総数	川崎	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生
小規模水道		7	－	1	－	2	－	2	2
小規模受水槽水道		1,947	450	275	339	306	162	243	172
用途別	共同住宅	919	121	131	174	166	103	133	91
	事務所	158	85	14	16	21	4	8	10
	店舗	135	73	7	12	12	9	13	8
	学校	31	11	2	4	8	－	3	3
	工場	33	14	－	4	9	－	3	3
	病院	12	2	6	1	2	1	－	－
	旅館	20	9	4	5	－	－	1	1
	興行場	2	2	－	－	－	－	－	－
	寮	88	10	9	28	18	3	16	4
	集会場	2	－	－	2	－	－	－	－
容量別	0トン超8トン以下	1,554	370	239	254	243	113	204	131
	8トン超10トン以下	388	75	36	85	63	49	39	41
飲用井戸（水道未布設）		8	－	－	－	2	1	3	2
災害時協力井戸 （一部再掲）	（飲料水供給施設）	8	－	－	－	3	－	2	3
	（生活用水供給施設）	281	3	9	8	45	47	122	47

資料:生活衛生課